

既存擁壁外観状況チェックシート

建築主氏名		調査年月日		令和 年 月 日		
建築場所						
調査者資格・氏名 住所・連絡先		()建築士()登録第 _____ 号				
		会社名		氏名		
		住所		TEL		
擁壁の概要	規模、構造等	隣地所有		種類 ※		
		敷地 側・長さ _____ m		高さ _____ m ~ _____ m		
		※擁壁の種類は表1を参考に記載してください				
	築造時期					
	確認済証又は開発許可証の有無		無 ・ 有 (確認又は許可番号及び日付 _____)			
	検査済証の有無		無 ・ 有 (検査済証番号及び日付 _____)			
擁壁の状況説明		擁壁所有者用の注意喚起チラシを配布した 配布日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日				
調査結果		A最大点 _____	+ B最大点 _____	= 総合点 _____	総合評価	
		+		=	I ・ II	

◎調査の手順 下記の手順に従って外観調査を行ってください

- 下記の「A周辺環境条件のチェック」を行う(各チェック項目の点数の内、最大のものを採用します)
- 裏面の「B擁壁構造体のチェック」を行う(各チェック項目の点数の内、最大のものを採用します)
- 総合評価を行う (A, Bの各最大点の合計値によって、擁壁の安全性を2段階で評価します)
 - I (5.0点未満) :現状において、緊急に改善を要する異常は見られません
 - II (5.0点以上) :緊急に改善を要する異常が見られます
- 擁壁の種類が複数ある場合は擁壁種別毎に提出すること

外観状況チェック項目						
A 周辺環境条件のチェック					点数	参照表
① 水抜き孔の状況	概ね内径75mm程度の水抜き孔が3㎡当たり1カ所程度設置されており、孔のつまりが無い	1.0	水抜き孔はあるが、径が小さい、数が少ない、あるいは孔が詰まっている	3.0	5.0 ※擁壁上部宅地が不透水層で覆われているなど、排水が良好な場合は 3.0	表2
	宅② 擁壁の排水部	擁壁側が水上勾配、又は排水溝が設置されており、排水施設は良好である	1.0	宅盤が平坦で浸透性の土である、または排水溝が壊れている		
③ の裏込め材	※水抜き孔や宅盤より鋼棒等で突くことによりチェック	裏込め材が全体にあり、良好である	1.0	裏込め材が確認できない	3.0	
採用点数 (①~③の最大値)						点

B 擁壁構造体のチェック						
擁壁の状況		擁壁の種類			点数	参照表
		RC造擁壁 (重力式含)	間知ブロック等 練積み擁壁 ※1	その他擁壁 ※2		
① クラック (ひび割れ)	クラック無し	1.0	1.0	1.0		
	コンクリートの打ち継ぎ、又は積石の目地部分にクラック有り(幅5mm未満)	1.0	1.0	3.0		
	目地等以外の部分にクラック有(幅5mm以上20mm未満)	3.0	3.0	5.0		
	目地等以外の部分に多数の水平クラック又は幅20mm以上の大きなクラックがある	5.0	5.0	5.0		
② 不同沈下	不同沈下(目地の開き)無し	1.0	1.0	1.0		
	目地等部分に5mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	1.0	1.0	3.0		
	目地等部分に5～20mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	3.0	3.0	5.0		
	目地等部分に20mm以上の上下のずれ又は左右の開きがある	5.0	5.0	5.0		
③ 出隅部の開き	出隅部の開き無し	1.0	1.0	1.0		表3
	出隅部分に5mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	1.0	1.0	3.0		
	出隅部分に5～20mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	3.0	3.0	5.0		
	出隅部分に20mm以上の上下のずれ又は左右の開きがある	5.0	5.0	5.0		
ふく ④ 擁壁の み	擁壁の表面にふくらみは確認できない	-	1.0	1.0		
	部分的なふくらみが見られる	-	3.0	5.0		
	全体的なふくらみが見られる、または積み石が落下している部分がある	-	5.0	5.0		
折れ ⑤ 曲がり 傾斜	傾斜・折れ曲がり無し	1.0	1.0	1.0		
	擁壁全体がやや傾斜(前掲あるいは後掲)している	3.0	3.0	5.0		
	擁壁全体が明らかに傾斜している、または途中で折れ曲がりが見られる	5.0	5.0	5.0		
⑥ 鉄筋の 腐食	鉄筋の腐食による影響無し	1.0	-	1.0		
	擁壁表面及び側面に鉄筋腐食によるクラック、ふくれ、錆汁等が部分的に見受けられる	3.0	-	5.0		
	擁壁表面及び側面に鉄筋腐食によるクラック、ふくれ、錆汁、コンクリートの剥離等が見受けられる	5.0	-	5.0		
				採用点数 (①～⑥の最大値)		点

※1 練積み擁壁は組積材が裏込コンクリートと一体化されているものに限る

※2 コンクリートブロック積み擁壁については対象外とし、福岡市確認申請の手引きの取り扱いによる

表 1 擁壁の種別分類表

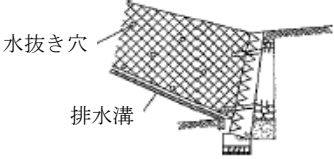
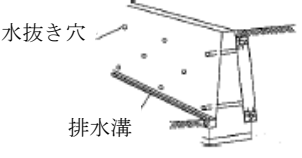
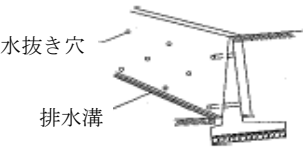
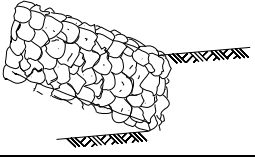
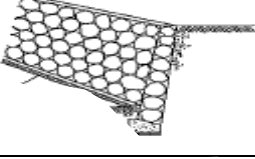
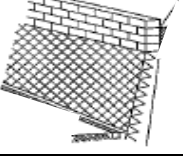
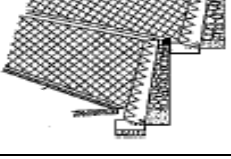
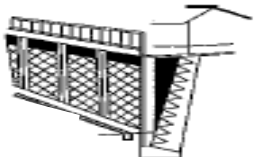
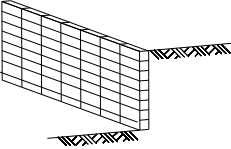
擁 壁 の 種 別		
【Aグループ】		
①	間知石・間知ブロック練積み擁壁 (裏込コンクリートにより組積材が一体化されたもの)	
②	重力式コンクリート擁壁	
③	鉄筋コンクリート造擁壁	
【Bグループ】		
①	ガンタ積み擁壁 (古いコンクリートの塊などを再利用して積んだ擁壁)	
②	空石積み擁壁 (玉石積み等含む)	
③	増し積み擁壁 ※上部がコンクリートブロック積の場合は、「福岡市確認申請の手引き」に基づき改修した上で適用する	
④	2段擁壁	
⑤	張出し床版付擁壁	
【外観状況チェックシートの対象外】 ※「福岡市確認申請の手引き」の取り扱いによる		
	コンクリートブロック積み	

表2 周辺環境条件のチェック

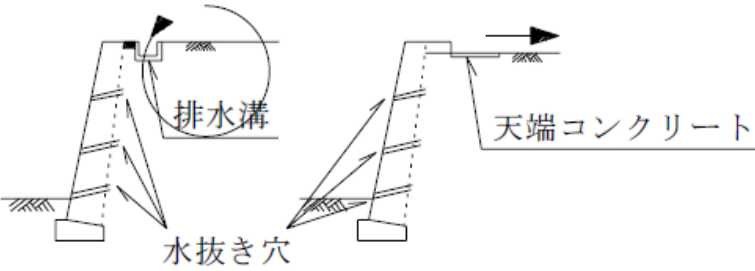
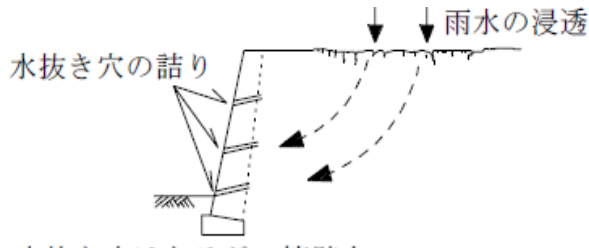
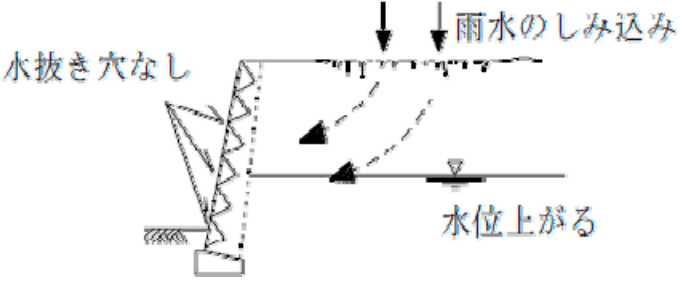
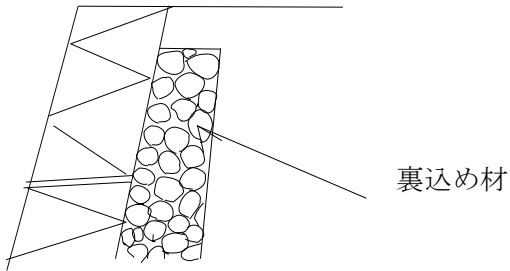
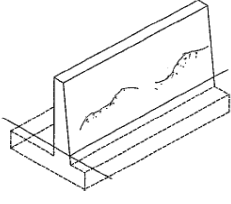
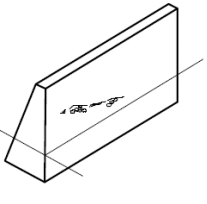
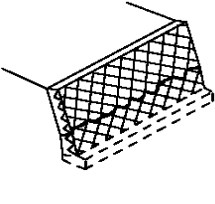
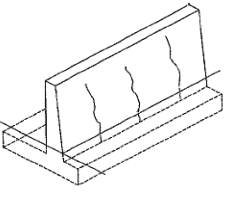
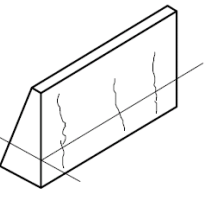
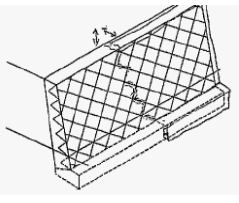
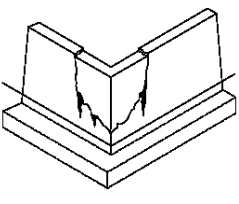
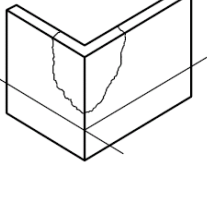
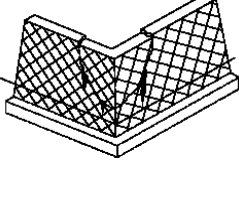
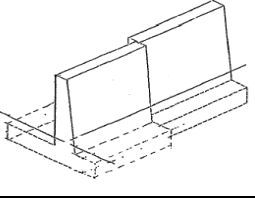
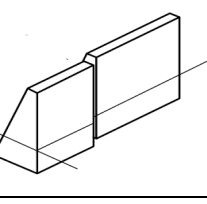
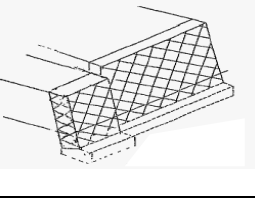
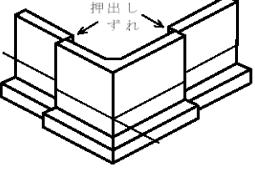
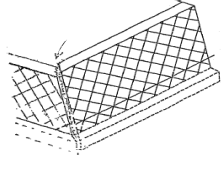
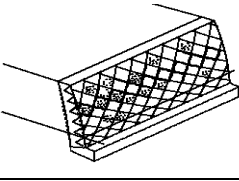
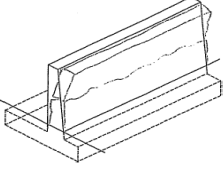
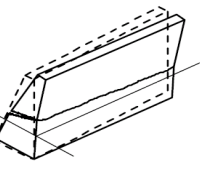
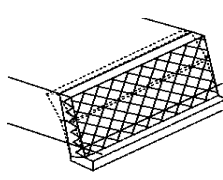
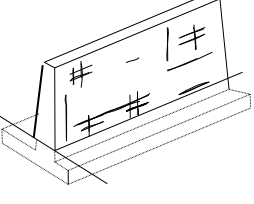
<p>① 水抜き孔 ② 擁壁上部宅地の排水施設 の状況</p>	<p>1.0</p>	 <p>擁壁の上の地盤も含め排水良好である。</p>
	<p>3.0</p>	 <p>水抜き穴はあるが、擁壁上の地盤に雨水が浸透しやすい状況にある。</p>
	<p>5.0</p>	 <p>水抜き穴なし</p> <p>雨水のしみ込み</p> <p>水位上がる</p>
<p>③裏込め材</p>		 <p>裏込め材</p>

表3 擁壁の状況

		鉄筋コンクリート造	重力式コンクリート造	練り石積み擁壁
クラック (ひび割れ)	横クラック			
	縦・斜めクラック			
	出隅部のクラック			
不同沈下				
出隅部の開き			—	
擁壁のふくらみ		—	—	
傾斜・折れ曲がり				
鉄筋の腐食			—	—